

# たんちよう

JAくしろ丹頂  
広報誌

vol.99  
2015.12

くしろ丹頂

## 「ふるさと給食出前授業」実施 JA青年部鶴居支所



講師の菱沼恭平さん（左奥） 増田一真さん（右奥）

### CONTENTS

- TPP協定に関する講演会並びに釧路地区集会 — 1・2
- 第28回 JA北海道大会 — 3・4
- 酪農振興会視察研修 / JA青年部・女性部合同視察研修 — 5
- JA女性部幌呂支部と昆布森漁協女性部との交流会  
JA青年部鶴居支部「ふるさと給食出前授業」で「食育教育」を実施 — 6
- 平成27年度 新採用職員 農場実習体験記 — 7・8
- 北海道公共牧場会哺育部会研修会 / 鶴居村交通安全村民大会 — 8
- 普及センターだより — 9
- 理事会報告 / 生乳生産実績 — 10
- 年末年始日程表 — 11



酪農振興会視察研修を実施

# TPP情報開示と不安を解消する対策を強く求める!!

## TPP協定に関する講演会並びに釧路地区集会 開催



十一月十四日、釧路地区酪農対策協議会、釧路地区農協組合長会等管内の一次産業、商業、消費者など14の関係団体で組織する「T P P協定に係る関係団体との釧路管内連絡協議会」は、T P P協定に関する講演会並びに釧路地区集会を釧路市で開催しました。

管内の生産者、各関係団体等から約220名（当JAから17名）が参加し、集會に先立ち、東大大学院の鈴木宣弘教授が「T P P合意と国会決議との整合性等について」食・いのち・くらしを守る運動のあり方」と題し講演しました。「国会決議との整合性を早急に明らかにし、



意見表明をする山内功丞会長

国民全体の命や健康そして生活を守るために、作る人、加工する人、流通する人、消費する人、全てが持続出来る社会システムを構築する必要がある。」と強調しました。

農業者、商工関係者、消費者の各代表がそれぞれの立場で意見表明を行ない、JA釧路地区青年部協議会の山内功丞会長は、「我々農業者は、農業の大切さを重んじ、国土を守る使命がある。国民の命を支える」と

いう誇りを持ち、安心安全な農業を継続し、子供達の未来につなげていかなければならない。」と訴えました。最後に、JA釧路地区女性協議会の新井功仁恵会長が集會宣言をし、今後も引き続き私達の不安や懸念を解消するために必要な対策を求めていくこと、関係機関が一体となった取組みを進めていくことを強調し、満場の拍手で集會宣言は採択されました。



新井功仁恵会長が集會宣言



# 集 会 宣 言

TPPは農林水産業のみならず、地域経済や生活に重大な影響を及ぼす恐れがあるという認識のもと、これまで釧路管内では、関係機関が一体となって、総決起大会の開催や、TPPに関する講演会などを開催してきました。

しかしながら、情報の開示や国民的議論が一切ないままに、先月、TPP交渉は大筋合意に至りました。

合意内容については、農林水産物のうち、特に、牛肉や乳製品など酪農畜産分野に多大な影響が想定され、国会決議との整合性が厳しく問われる内容で決着したことに對して、生産現場には大きな不安と怒りの声が広がっています。

また、食の安全・安心や医療制度、ISDS条項（投資家・国家間の紛争解決）などの懸念事項に関しても、私たちの不安が解消される、納得のいく情報開示や説明がされていません。

このため、釧路管内の経済・社会および住民の生活が、TPPによって脅かされることのないよう、また、農林水産業の担い手が将来にわたり、意欲と希望をもって経営が展開できるよう、正しくわかりやすい情報の開示・説明を求めてまいります。併せて、私たちの不安や懸念を解消するために必要な対策を求めていくことなど、引き続き、国会批准の対応も視野に入れつつ、関係機関が一体となった取組みを進めていくことを、ここに宣言いたします。

平成27年11月14日

TPP協定に係る関係団体との釧路管内連絡会議

# 北海道550万人と共に創る 第28回JA北海道大会 「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」



J Aグループ北海道は、十一月十一日、札幌市で第28回J A北海道大会を開催し、全道のJ A、連合会、青年組織、女性組織等の代表約2200名(当J Aから12名)が参加しました。

大会にあたり、J A北海道中央会の飛田稔章会長は、「J Aグループは、TPPや農協改革により、一大転換期を迎えている。農業は生命を担う産業であり、携わる人それぞれの自助努力と、消費者や地域住民の理解と協力の基に成り立つ産業。農業やJ Aへの理解と共感をより広げ、後世に北海道農業を引き継ぐために今大会で今後の取り組みを決め、農業と農業協同組合の発展を目指しJ Aグループ一丸となって取り組んでいく。」と述べました。

第一号議案では、北海道550万人と共に創る「力強い農業」の実現に向けて、協同の力で農業

所得20%増大と新規担い手を1200人に倍増させる事。第二号議案では、「豊かな魅力ある農村」の実現のため、食と農を通じて強くつながる550万人のサポートづくり。第三号議案では、人づくりを柱とした「各組織等の取り組み」を掲げました。

大会決議は、J A北海道青年部の齋藤和弘会長が上程、TPPから北海道農業・農村及び国民の命と暮らしを守る特別決議とともに、左記の内容が満場一致で採択されました。



# 大会決議

第28回 J A 北海道大会のメインテーマである『北海道550万人と共に創る「力強い農業」と「豊かな魅力ある農村」』の実現に向けた各議案について、組合員・J A・連合会・中央会が、各役割を再確認するとともに、J Aグループ北海道の英知を結集して、基本目標の達成に向けて取り組むものとする。

また、大会議案の実践内容をグループ内外に発信すること、さらには農業・J Aの意義を発信することで、消費者・地域社会、そして北海道550万人から信頼される J Aグループ北海道を目指すものとする。

## TPPから北海道農業・農村及び国民の命と暮らしを守る特別決議

10月5日に米国アトランタの閣僚会合において、TPP交渉が大筋合意に至った。農林水産物は全体の8割が即時もしくは段階的関税撤廃の対象となり、聖域とされた重要5品目についても3割が関税撤廃となるなど、我が国において、かつてない農畜産物市場の開放がなされる結果となった。

TPP交渉の守秘義務を盾に、情報の開示や国民的議論が一切なされぬまま、国会決議との整合性が厳しく問われる内容で決着したことに對し、われわれ農業者は、大きな不安と政府に対する強い不信・憤りを抱いている。

食の安全・安心や医療制度、ISDS（投資家・国家間の紛争解決）条項など国民の懸念事項に関しても、疑念は完全には解消されていない。

我々は、農業の担い手が将来にわたり、意欲と希望をもって営農を継続できるとともに、北海道の地域経済・社会及び国民の命と暮らしが、TPPによって脅かされることのないよう引き続き下記運動に全力で取り組んでいく。

### 記

1. 政府・国会議員に対しては、TPP合意内容の全容と影響、さらには国会決議との整合性についての説明責任を果たすとともに、生産者の不安を払拭し、持続可能な北海道農業を確立するよう強く求めていく。
2. 北海道550万人と共に、我が国の食糧安全保障や食の安全・安心の必要性、農業・農村の果たす機能などに関する農業理解促進活動を展開し、国産農畜産物に対する支持と信頼を高めていく。

以上、決議する。

平成27年11月11日

第28回 J A 北海道大会

# 酪農振興会視察研修 酪農先進技術等を学ぶ

十一月十八、十九日の二日間、JA酪農振興会は、会員、事務局計15名の参加者により、道央方面へ視察研修を実施しました。

初日は、千歳市のデラバル(株)北海道を視察し、搾乳ロボットシステムなどについて説明を受けました。会員は、最先端の



最先端搾乳ロボットに興味津々



北海道コカ・コーラボトリング札幌工場を見学

搾乳システムに大変興味を持ち、実際に見て触れ、質問をしながら先進事例について学びました。

二日目は、札幌市の北海道コカ・コーラボトリング札幌工場を視察し、事業概要等について学び、二日間の研修が終了しました。

## JA青年部・女性部合同視察研修 ～酪農先進事例を学ぶ～ 「(株)TACCSしべちゃ」訪問 中央会「できるミドル研修」の一環



各施設を見学し説明を受ける参加者

十一月四日、JA青年部鶴居支部・女性部鶴居支部は、JAうらほろ、JA道東あさひの青年部員、関係者らと合同(計35名)で、標茶町の農業生産法人(株)TACCSしべちゃを視察しました。

この視察は、JA北海道中央会主催の「できるミドル研修」の一環で、研修受講者当JA西村融資課長らが企画する取り組みです。JA・行政・種苗メーカーが構成員となり取り組むタックスの草地型低コスト酪農、次世代の担い手確保、営農支援体制の仕組みなどを学び、大変意義ある研修となりました。

※できるミドル研修とは：組合員と利用者が一番近いJA職員の現場力強化を目的とする全道的な取り組み。



## JA女性部幌呂支部と昆布森漁協女性部との交流会



ストリングチーズ作りに挑戦

十月三十日、幌呂農村環境改善センターでJA女性部幌呂支部と昆布森漁協女性部との交流会が行なわれました。

JA女性部員6名、昆布森漁協女性部員13名、関係者3名の計22名が参加し、同センター調理室で、JA女性部員宅で搾った幌呂産の生乳を使い、ストリングチーズ（さけるチーズ）を作りました。協力して作ったチーズは味もよく、おいしいと大変好評で、家族のお土産として持ち帰りました。

調理後は、昼食を食べながら懇親を深めました。

## 「ふるさと給食出前授業」で「食育教育」実施 JA青年部鶴居支部



模擬搾乳体験

十一月二十七日、鶴居小学校で、よつ葉乳業(株)根釧工場主催による「ふるさと給食出前授業」が行なわれました。

社会学習の一環として、小学三年生を対象に「根釧牛乳」の消費拡大と地産地消の意識を根付かせる「食育教育」を毎年実施しております。

JA青年部鶴居支部の部員とよつ葉の担当者が講師となり、「くしろの酪農」を「牧場のしごと・牛乳のできるまで・ミルクからできるさまざまな製品」について図でわかりやすく解説し、乳牛の模型を使った搾乳体験などを行ない、子ども達は「酪農」についてより理解を深めました。

給食時には、村内全小中学校で根釧牛乳を飲んでもらい、子ども達からもおいしいと好評でした。

平成27年度  
新採用職員

# 農場実習体験記

当JAに新規採用された職員の貴重な酪農体験記をご報告致します。

本所・営農部営農課 やま もと こう へい  
山 本 晃 平

私は、11月9日から13日までの5日間、(農)高橋農場で農場実習を行いました。

実習内容は、朝と夕方の搾乳、牛舎の掃除や餌やりでした。今まで一度も農場で実習等を行ったことがなく、搾乳を行うのは初めてのことで、いきなりパーラーに入っただけの搾乳でしたので不安な気持ちでいっぱいでした。ですが、高橋農場の方々が気さくに接して頂いてとても丁寧に指導して下さいました。実際に搾乳等の作業をやってみて想像していたよりも大変だと痛感しました。



お忙しい中、自分を受け入れて色々と指導して頂き、有意義で楽しい実習でした。

実習を通じて生き物を扱うことの大変さとやりがいを感じることができ、貴重な経験になりました。今回の実習で学んだ事を活かせるように頑張っていきます。

高橋農場の皆様にご心よりお礼申し上げます。ありがとうございました。

幌呂支所・家畜改良課 いの うえ のぞみ  
井 上 望

私は、今回、(有)協栄農場で実習をし、普段とはまた違う視点で牛を見つめることができました。人工授精師として農家をまわる中、農家の方から乳頭の配置が良い種などを具体的に指定されることがありました。研修で実際に搾乳し、乳頭の形状、配置等の重要性を感じました。朝早くから始まる搾乳は大変でしたが、初心者の私に一から丁寧に教えてくださり、とても勉強になりました。

乳牛が引き起こしやすい病気の中でも乳房炎は多く、乳頭の先端までしっかり拭いて消毒することがとても大切なのだと改めて感じました。

搾乳の他に分娩に立ち会うことができ、母牛の一つ一つの行動を繊細に感知することが大切だと思いました。それぞれ牛の個体を把握し、病気を招かないよう異常を感知するには並々ならぬ努力が必要だと実感しました。

今回の研修を通じて、これからも農家の方々に少しでも支えていけるよう自分自身も努力してこうと強く思いました。



私は、五十嵐政敏農場で11月9日から13日の5日間実習させて頂きました。短い期間でしたが牛について多く学ぶことができ、物の見方や考え方が大きく変わりました。

特に子牛の段階からしっかり管理することの大切さを学び、五十嵐農場では、低温殺菌した牛乳で哺乳し、ほかにも電解質などを混ぜ、下痢や病気の少ない健康な牛が育つように心掛けており、手間をしっかりとかけて管理することの大切さを改めて学びました。

実習中に他の酪農家の手伝いに行く機会があり、人との繋がり大切さや酪農家同士の助け合いなど、協力があってこそ成り立つものだと感じました。また、これは他の仕事でも言える



事であり、これからも人との繋がりを大切にしていきたいです。

実習を重ねていくうちに、酪農の厳しさ、楽しさ、難しさを感じ、とても充実した日々の中で多くを学び、今後に繋がるものになったと感じております。今回の実習を忘れず、今後しっかり頑張っていきたいです。



積極的な討議が行なわれた研修会

**北海道公共牧場会  
哺育部会研修会を開催**

十一月十九日、当JA本所で北海道公共牧場会主催の研修会が開催されました。

全道各地より牧場会の会員15名が参加し、当JA哺育育成センター池田牧場長が講師となり、哺育育成技術の現状と対策等について積極的な討議が行なわれ理解を深めました。

十一月二十日、鶴居村総合センターで、鶴居村交通安全村民大会が開催されました。

参加者全員で、交通事故犠牲者に黙祷を捧げ、釧路警察署交通課から、「安心安全な暮らしを守るために」と題した講演が行なわれました。最後に交通安全宣言が行なわれ、交通事故の追放・撲滅を誓いました。



交通事故犠牲者に対して黙祷

**鶴居村交通安全  
村民大会開催**



写真1 サイレージ品質が悪いと乾物摂取量は減少します

Ｔ農場は経産牛四百頭飼養の大規模農場です。平成二十五年産グラスサイレージの発酵品質が悪く、乳牛の疾病が増加し乳生産量を減少させてしまいました。そこでＴ農場は、サイレージの改善に二年間取り組みました。

牛が喜んで食べる  
サイレージを作るには

今年のサイレージの出来はいいかがでしょうか？サイレージがうまくできると牛達は喜んで食べるようになります。牛乳の生産量はアップします。今回は、牛が良く食べるサイレージづくりについて紹介します。

〈経過〉

以上の取り組みによってできたサイレージは乳牛の食い込みが良くなり乳生産量は増加しています。(図1)

表1 平成27年における取り組み

取組1	牧草割合が高いほ場を先に収穫する
取組2	モアコンを改造し、牧草を高く刈って異物混入を防ぐ
取組3	牧草の水分が高いのでギ酸を添加する。スロープはなだらかにしっかり踏圧する

〈取組内容〉  
平成二十六年に初めて添加剤としてギ酸を使用し、高水分調製においても品質の良いサイレージをつくることができました。平成二十七年は全ほ場の植生調査を農協・普及センターと共同で実施し、ほ場毎の雑草割合を調べた結果、牧草割合が四〇％以上のほ場は全体の三三％しかありませんでした。これらの情報をもとに次のことに取り組みました。(表1)

表2 サイレージ発酵品質

発酵品質	pH	Vスコア(点)	NH3-N/TN	サンプル数
H25	4.5	67	14.9	18
H26	4.4	76	12.8	10
H27	4.0	98	5.2	5
栄養価	水分(%)	CP(乾物%)	NDF(乾物%)	TDN(乾物%)
H25	80.1	10.5	70.9	56.5
H26	81.8	11.1	70.5	60.1
H27	75.6	11.0	63.4	64.0

サイレージ品質は年々良くなっています

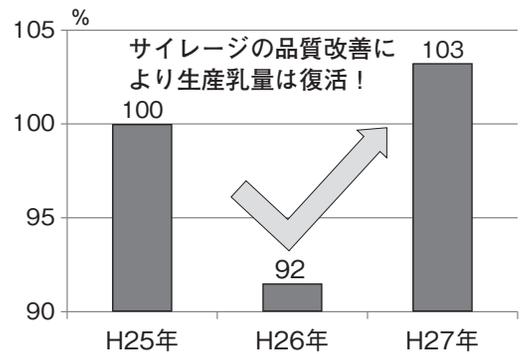


図1 出荷乳量変化(1月-10月を累計して比較)

表3 サイレージ品質改善についての取り組み

内容	H25年	H26年	H27年
収穫開始日を早める	6月20日開始、7月上旬終了	6月15日開始、6月25日終了	6月11日開始、6月20日終了
牧草刈位置を高くする	未実施	未実施	モアコンを改造して刈取高さを10cm程度にする
高水分調製への対応	未実施	牧草にギ酸を添加し、pHが4.2以下か確認	牧草にギ酸を添加し、pHが4.0以下か確認

飼料分析を行うと、発酵品質向上に加え、タンパク質や繊維等、栄養価の改善が確認できました。(表2)

構成員のMさんは、「サイレージの栄養価がアップしたのでTMR中のサイレージ割合を高くすることができ、牛の調子が良くなってきた」と話しています。(平成二十七年十一月作成)

# 理事会報告

## 11月定例理事会 平成27年11月25日（水）

### 報告事項

1. 専決事項及び諸会議について
2. 各委員会・諸会議等について
3. 10月末財務状況について
4. 事業の実施処理状況について
5. 理事に対する資金の貸付について
6. 大家畜特別支援資金による借換対象資金に係る延納利息の減免について

- 議案第3号 草地整備改良事業費の支出について  
 議案第4号 固定資産の修繕について  
 議案第5号 平成26年度畜産収益力強化緊急支援事業の承認について  
 議案第6号 資産査定要領の一部変更について  
 議案第7号 諸規程の制定について  
 ※以上全件原案通り承認されました。

### 付議事項

- 議案第1号 融資の承認について  
 議案第2号 コンプライアンス・マニュアルの一部変更について

### その他協議事項

1. 当面の業務日程について

■平成27年度	生乳生産実績（11月）			
	月計乳量（kg）	11月前年比（%）	累計乳量（kg）	累計前年比（%）
釧路丹頂農協	8,230,887.5	105.3	67,625,727.2	103.9
（鶴居地区）	2,804,134.5	106.7	23,203,978.5	105.9
（幌呂地区）	2,166,177.0	106.2	17,633,298.6	101.9
（白糖地区）	1,723,513.2	102.3	14,257,647.3	103.6
（音別地区）	1,537,062.8	105.3	12,530,802.8	103.1
管内計	42,678,563.3	104.1	354,834,599.4	102.2
（前年度管内計）	41,004,033.0		347,161,731.5	

編集後記  
EDITOR'S NOTE

- T P P 協定に関する講演会並びに釧路地区集会に出席し、T P P 協定の現状、これからの方向性とそれらに付随していくであろう懸念材料など、鈴木宣弘教授が今迄、講演などで一貫して警鐘を鳴らしてきた意味が少なからずわかってきました。専門的な分野で難しい部分は多々ありますが、国会決議と運動のあり方、将来を見据えた食と国民への健康リスクとの関係、生産・加工・流通・消費者全てが持続出来る社会システム作りなどを学び、今後も農業分野への影響を今迄同様に注視していく必要があります。
- 今年も、たんちょうだよりの作成にあたり、ご協力頂き誠にありがとうございました。2016年が皆様方にとりまして、実り多い年となることを心より願っております。

## JAくしろ丹頂 年末年始日程表

年月日	各地区の事務所			販 売		家畜改良 鶴居・幌呂 白糠・音別	生 乳	哺育育成 センター	幌 呂 育成牧場
	管理・共済	金 融	営 農	鶴居・幌呂	白糠・音別				
平成27年 12月24日(木)				定期市場 (初生のみ)			通常業務	通常業務	通常業務
12月25日(金)									
12月26日(土)									
12月27日(日)									
12月28日(月)									
12月29日(火)	業務納め		業務納め	初生集荷・業務納め					
12月30日(水)		業務納め							
12月31日(木)						業務納め*			
平成28年 1月1日(金)									
1月2日(土)						業務始め*			
1月3日(日)									
1月4日(月)		業務始め							
1月5日(火)				初生集荷・業務始め					
1月6日(水)	業務始め		業務始め				↓	↓	↓

年月日	購買・鶴居			購買・幌呂			購買・白糠		購買・音別		
	生活店舗	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材	給油所	資 材	生活店舗	給油所	資 材
平成27年 12月24日(木)											
12月25日(金)									(抽選開始)		
12月26日(土)	(抽選開始)			(抽選開始)	午前のみ*						
12月27日(日)											
12月28日(月)	年末大売出し			年末大売出し							
12月29日(火)	↓		業務納め	↓		業務納め		業務納め			業務納め
12月30日(水)	↓			業務納め	業務納め				↓		
12月31日(木)	業務納め*	業務納め*					業務納め*		業務納め*	業務納め*	
平成28年 1月1日(金)											
1月2日(土)							業務始め*				
1月3日(日)		業務始め			業務始め*						
1月4日(月)	業務始め						午後6時まで		業務始め 午後6時まで	業務始め	
1月5日(火)							午後6時まで		午後6時まで		
1月6日(水)			業務始め	業務始め		業務始め		業務始め			業務始め

\*午前中のみ営業となります。 **営業日** **休業日** 1/6(水)は、全業務午後4時までの営業となります。金融ATMは平常営業をしております。

・万一、交通事故が発生した時は、フリーダイヤル(☎0120-258-931)に電話をして下さい。事故の受付とアドバイスをしてくれます。

### ◆鶴居地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、田村課長(090-7647-4585)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、大松運輸(57-8388)もしくはホクレン(岩谷職員 090-7642-0725)に連絡して下さい。

### ◆幌呂地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、泉課長(090-7055-1541)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、泉課長(090-7055-1541)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、全酪連釧路事務所(岩崎職員 080-9020-3502)か(矢口購買課長 080-5471-3668)に連絡して下さい。

### ◆白糠地区の皆様へ

- ・生産資材に関することは、大石課長(自宅6-2734 携帯090-1640-0376)に連絡して下さい。
- ・給油スタンドに関することは、給油所(2-2084)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸(0154-57-2777)に連絡して下さい。

### ◆音別地区の皆様へ

- ・Aコープは1月4、5日は午後6時までの業務となります。
- ・生産資材に関することは、林課長(6-2529)に連絡して下さい。
- ・万一、配合飼料が無くなった時は、幸永運輸(0154-57-2777)に連絡して下さい。

### ◆人工授精業務、年末年始の対応について

- ・12月31日及び1月2日の人工授精業務につきましては、午前9時30分までの受付分(厳守)対応となりますので、よろしく願い致します。